※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３６

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校公共　（第一学習社）						
副教材等	最新公共資料集２０２３　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会の諸課題に対して、自ら解決する方法を探究することにより、自らの課題として捉えること。
・同じ社会に暮らす級友と課題や解決策を協働・共有してともに模索する。

２　学習の到達目標

・諸課題を追求し、解決を模索する活動を通して、広い視野に立ち、主体的に生きる公民としての能力を持つ。
・事実を基に多角的・多面的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れて、議論する力を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	社会的な事象の本質や課題について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	現代社会と人間に関する関心を高め、意欲的に課題を追究解決しようとしている。平和で民主的なより良い社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としてのあり方・生き方についての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	人間としてのあり方生き方についての探究	1　社会に生きる私たち。個人の尊厳と自主･自律 2　実社会の事例から考える～環境保護 3　実社会の事例から考える～生命倫理 4　公共的な空間を形成する～功利主義･カント･ロールズ･センから学ぶ 5　民主政治の基本原理 6　法の支配。自由･権利と責任･義務	a:青年期はどのような意味をもつのかを自ら成長させる人としてのあり方生き方について理解している。 a:功利主義の先哲･カント･ロールズ・センの主張を深く理解している a:法の支配の歴史的背景を理解している。 b:公共的な空間と人間との関りの観点から､｢環境保護｣｢生命倫理｣を、個人の尊厳と自主･自律､人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 c:現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	･定期考査 ･授業内課題	･定期考査 ･授業内討論 ･発表	･授業態度 ･ノート提出 ･発表
	よりよい公共的な空間づくりをめざして	1　世界のおもな政治体制 2　私たちの生活と法 3　契約と消費者の権利･責任 4　司法参加の意義	a:個人と国家・社会との関係から、司法制度や世界のおもな政治体制について、自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているかを理解している。 b:身近な課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのかを考察・表現している。 c:法や規範・世界のおもな政治体制・司法参加の意義と役割について現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	･定期考査 ･授業内課題	･定期考査 ･授業内討論 ･発表	･授業態度 ･ノート提出 ･発表

※令和４年度以降入学生用

後期	政治参加と公正な世論の形成	1　選挙の意義と課題 2　政治参加と世論形成	a:選挙の意義と政治的無関心の危険性などについて理解している。 b:選挙のしくみ、政党の役割などについて、種々の情報手段を活用して考察、表現している。 c:政治参加を公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・授業内討論 ・発表	・授業態度 ・ノート提出 ・発表
	国政と地方自治の課題	1　国会と立法 2　内閣と行政の民主化 3　地方自治と住民の福祉	a:国会の地位、議院内閣制や地方自治のしくみについて理解している。 b:現代日本の行政の民主化や地方自治における直接民主制の運用について種々の情報手段を活用して考察、表現している。 c:国政・地方自治のあり方を主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・授業内討論 ・発表	・授業態度 ・ノート提出 ・発表
	国際社会と国家主権	1　国家と国際法 2　国境と領土問題 3　国際連合の役割と課題	a:国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b:国境や領土問題をめぐる諸課題を主体的に解決するために必要な情報を収集し、考察・構想している。 b:国際連合の課題解決について広い視野に立って考察し、表現している。 c:国際社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・定期考査 ・授業内課題	・定期考査 ・授業内討論 ・発表	・授業態度 ・ノート提出 ・発表

※令和４年度以降入学生用

	日本の安全保障と国際的役割	1　平和主義と安全保障 2　核兵器の廃絶と国際平和 3　人種･民族問題と地域紛争 4　国際社会における日本の役割	a:日本国憲法の平和主義について理解を深めることができている。 a:核廃絶の取り組み、人種･民族問題や地域紛争に関する資料を収集し、これらの課題解決に向けてどのような努力がなされているかを理解している。 b:変化する国際情勢が日本の安全とどう関連しているかを広い視野で種々の観点から考察している。 c:国際社会の変化と日本の役割について、その諸課題を主体的に解決しようとしている。	･定期考査 ･授業内課題	･定期考査 ･授業内討論 ･発表	･授業態度 ･ノート提出 ･発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度